

JMCoE-Q2

NEWSLETTER Vol.2, 2021.10

Published by Kyushu University EU Centre
ジャン・モネCoE九州 ニュースレター
発行：九州大学EUセンター

JMCoE-Q 市民講座 / JMCoE-Q Extension Lecture Series

JMCoE-Q 市民講座2021「欧州グリーンディール～脱炭素社会を目指して～」 / JMCoE-Q Extension Lecture Series 2021 “European Green Deal –Aiming for the Decarbonized Society”



九州大学EUセンターでは、2021年6月28日(月)～7月26日(月)の期間、全4回にわたり、市民講座2021「欧州グリーンディール～脱炭素社会を目指して～」をオンラインで開講しました。毎年、一般市民を対象にEUへの理解を促進するアウトリーチ活動のひとつとして、さまざまなテーマを取り上げて開催してきた本市民講座、今回はジャン・モネCoE九州として4回目の開催となりました。

コロナ禍の中、オンラインのウェビナー形式で行われ、全国からのべ約210余名にご参加いただき、盛況のなかでの開催となりました。オンラインの特色を生かして、対面では難しい遠隔地からの参加も多く見られました。市民の皆様からは、毎年楽しみにされているという声を多くいただき、回を重ねるごとに、この「EUセンター市民講座」が市民の皆様ますます親しまれ、継続した学びをとおして地域貢献につながる活動となっています。

これまでのJMCoE-Q市民講座では、EUが直面する様々な課題について、その現状を解説してきましたが、今回は、講師陣に九州大学をはじめ他大学からもEUや欧州ならびにエネルギー問題に関する専門家の先生方をお迎えし、「欧州グリーンディール」というテーマのもと多面的に講演いただきました。(記事詳細は2ページ)

The Kyushu University EU Centre (JMCoE-Q) Extension Lecture Series 2021 titled “European Green Deal –Aiming for the Decarbonized Society” was organized online. It was composed of four lectures held from 28 June to 26 July 2021. This extension lecture series is provided for the general public in order to reach out to wider groups of citizens to promote a public understanding about the EU in general by taking up various themes. This year was the fourth time it was organized by JMCoE-Q.

This lecture series was held online as a webinar in the midst of the coronavirus pandemic, and the event was a great success with more participation than expected of approximately 210 people from all over the country. (Continue to page 2)



目次 Index

JMCoE-Q 市民講座2021「欧州グリーンディール～脱炭素社会を目指して～」 / JMCoE-Q Extension Lecture Series 2021 “European Green Deal –Aiming for the Decarbonized Society”	1,2
EU研究サマースタディーズ / The EU Studies Summer Course	2-4
ジャン・モネ・セミナーシリーズ『インド太平洋と対EU外交』Jean Monnet Seminar Series “Indo-Pacific and EU Diplomacy”	5
EU研究ディプロマプログラム(EU-DPs) 2021年度前期 EU Studies Diploma Programmes 2021 Spring Semester	6
EU-DPs修了者の声 / Voices from the EU-DPs Students who completed the programme	6,7
オープンキャンパス Open Campus	8
これからのイベント Future Events	8

(1ページ目関連記事)

JMCoE-Q 市民講座2021「欧州グリーンディール～脱炭素社会を目指して～」 / JMCoE-Q Extension Lecture Series 2021 “European Green Deal—Aiming for the Decarbonized Society”

(1ページ目からの続き)

世界で加速するカーボンニュートラル(温室効果ガスの実質排出ゼロ)の動き。EUはこうした動きを先頭集団で牽引し、2019年末に「欧州グリーンディール」戦略を打ち出しました。この戦略が環境政策として掲げる2050年のカーボンニュートラル実現は、エネルギー部門の脱炭素化、産業におけるイノベーション、循環型経済の実現、クリーンな移動手段へのシフトなど、経済・社会の構造的な変革なくしては実現しえない野心的目標です。経済社会の刷新を通じた新しい成長軌道のもとで、人々が健康かつ幸福に暮らせる脱炭素社会を目指す、欧州グリーンディールの先駆的な取り組みから学びました。

(Continued from page 1) Taking advantage of the online format, many participants from remote areas where it would normally be difficult to meet face-to-face were able to attend, leading to the dissemination of information over a wide area. Citizens say that they are looking forward to the lecture series every year. The EU Centre Extension Lecture Series is getting to be more and more familiar with the general public each time it is held, and it is becoming one of activities that leads to a contribution to the community through learning.

In last year's JMCoE-Q Extension Lecture Series, the current status of some issues facing the EU was explained. This time, we welcomed several specialists as lecturers in the fields of the EU, Europe, and energy issues, not only from Kyushu University but from other universities, and multidimensional perspectives were provided under the theme of the "European Green Deal".

The world's accelerating carbon-neutral movement (zero greenhouse gas emissions) has been led by the EU with the launch of the "European Green Deal" strategy at the end of 2019.

The realization of carbon neutrality by 2050, which this strategy advocates as an environmental policy, is an ambitious goal that cannot be achieved without structural economic and social changes, such as decarbonization of the energy sector, innovation in the industrial sector, the realization of a circular economy, and the shift to clean transportation. We have learned from the pioneering efforts of the European Green Deal to aim for a carbon-free society where people can live in good health and happiness under a new growth trajectory through economic and social reforms.



(左上)岩田健治氏、(右上)蓮見雄氏、(下)分山達也氏 / (Upper left) Prof. Kenji Iwata, (Upper right) Prof. Yu Hasumi, (Bottom) Assoc. Prof. Tatsuya Wakeyama

PROGRAMME

- 第1回**：6月28日(月) 蓮見 雄(立教大学)「欧州グリーンディールとサーキュラー・エコノミーへの転換」
- 第2回**：7月5日(月) 岩田 健治(九州大学EUセンター長)「"欧州鉄道年2021"が目指すグリーンな輸送」
- 第3回**：7月12日(月) 分山 達也(九州大学エネルギー研究教育機構)「自然エネルギーの導入拡大に向けた電力システムの転換—日本と欧州の比較から」
- 第4回**：7月26日(月) 蓮見 雄(立教大学)「開かれた戦略的自律性における日EU協力—グリーンビジネスのグローバルスタンダードを求めて」

- FIRST**: 28 June 2021, Prof. Yu Hasumi (Rikkyo University): "European Green Deal and Shift to the Circular Economy"
- SECOND**: 5 July 2021, Prof. Kenji Iwata (Director of the Kyushu University EU Centre): "Green transportation aimed at 'the European Year of Rail 2021'"
- THIRD**: 12 July 2021, Assoc. Prof. Tatsuya Wakeyama (Kyushu University Platform of Inter-/Transdisciplinary Energy Research (Q-PIT)): "Transformation of Electric Power Systems to Expand Introduction of Renewable Energy—Comparison between Japan and Europe"
- FOURTH**: 26 July 2021, Prof. Yu Hasumi (Rikkyo University): "EU-Japan Cooperation in Open Strategic Autonomy—In Search of Global Standards for Green Business"

EU研究サマーコース /
The EU Studies Summer
Course

例年、夏休み期間中に合宿形式で開催していた九州大学EUセンター(ジャン・モネCoE九州)主催の「EU研究サマーコース」は、本年は新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年9月6日(月)～8日(水)の3日間にわたりオンラインでの開催となりました。パキスタンからの留学生1名を含む、日本全国4つの大学から集まった14名の学生(すべて学部生)が、EUについて集中的に学びました。➔

EU研究サマーコース / The EU Studies Summer Course

この九州大学EUセンター主催の「EU研究サマーコース」はEUIJ九州(※1)による実施から数えると、2018年(JMCoE-Q主催)以来3年ぶり8回目となりました。プログラムの講義分野は、経済、法、政治、社会、文化と広範囲に渡ります。この3日間のコースを修了すれば、EUについての全般的かつ基礎的な知識が体得できるようになっています。講義は、EU研究を各分野で牽引する講師陣が担当し、英語による講義も行われました。また、初の試みとして、オンライン学習を効率よく進められるサポートとして、先生方に事前学習用の動画やスライドを作成いただき、学生は当日を迎えるまでにひとりの基礎知識を習得できるよう設計されました。

また、今回のサマーコースは九州大学の2021年度学部基幹教育総合科目・大学院展開科目(EU-DPs指定科目)「EU論展開セミナー」(※2)の授業として開講し、すべてのプログラムに参加した九州大学の学生は1単位取得できる仕組みとしました。

プログラム2日目2021年9月7日(火)には本サマーコースの参加者に向けたジャン・モネ・セミナー「外務省外交講座」として、外務省の気候変動課から菊地崇史氏をお迎えし、「欧州グリーンディールと日本の脱炭素」について講演いただきました。講師の菊地氏からは、気候変動問題の現状、日本の気候変動対策、EUの気候変動対策などについて、詳しくお話いただきました。また、60分の講義後は「座談会」としてキャリアガイダンスも行われました。講師の菊地氏の経歴、中央省庁で働くやりがいや意義、実際の様子など、日頃はなかなか聞けない貴重なお話を聞かせて頂きました。将来、海外で働きたい、外交官として活躍した

という希望を持つ学生にとって、大変有意義な対話の機会となりました。

最終日には本サマーコース恒例のメインプログラム「模擬欧州理事会」が行われました。学生がEU加盟国の各国代表となり設定された議題に対するEU全体としての方針を議論します。

今年のテーマ「欧州グリーンディール」に対する国策や、経済状況、自然環境などから、4つの代表国、ポーランド、ドイツ、フランス、スウェーデンのグループに分かれ、グループごとにスライドを作成し準備しました。各グループは、オンラインという限られた環境の中、短い時間ながらも情報収集を重ね、様々なデータを用い各国の現状を研究し意見をまとめあげました。

発表ではそれぞれ自国の立場から大変熱の入った意見を述べ、より効果的な政策について活発に質疑応答を交わしました。最終的には、議長が中心となりEUならではの平和的解決に向けたEU全体の対応を模索していく議論が展開できました。

参加学生からは次のような感想が聞かれました。「EUの学習においては政治や法・経済といった分野横断的な理解が不可欠であることを痛感しました。複数分野の先生から共通テーマで学べる機会は滅多にないので非常に勉強になりました。また、コロナ禍でも、他大学の学生と共に学び、言葉を交わすことができたことも大変嬉しく思いました。EUへの興味関心が一層深まりました。」

最後に、全課程を修了したことを証明する「修了証書」(または「参加証書」)を一人ずつ送信し、参加者全員の清々しい笑顔と達成感とともに、今年のEU研究サマーコースは幕を閉じました。

(※1) EUIJ九州・・・九州大学EUセンターのEU助成金事業(2011年4月～2016年3月) <http://eu.kyushu-u.ac.jp/eui-j-kyushu-archives/jp/home/index.html>

(※2) 新設科目「EU論展開セミナー」・・・「EU教育研究エコシステム」定着に向けた取り組みのひとつ。九州大学EUセンターでは、ディシプリン横断型のEU研究ディプロマプログラム(EU-DPs)の提供を軸とした活動を10年続けています。学部から大学院を経由して職業人やEU研究者として自立するまでの全ステージを対象とするシームレスなEUの学習と研究を支援する体制「EU教育研究エコシステム」を通じて、EUに関する専門知識を備えた人材を育成する取り組みを行っています。入門科目の「EU論基礎」の発展的科目として、少人数セミナー形式の「EU論展開セミナー」を2021年度より新設しました。



EU研究サマーコース

<日程>

2021年9月6日(月)～8日(水)3日間

<場所>

オンライン(Zoom)

<参加学生>

14名(九州大学6名、早稲田大学2名、東洋英和女学院大学4名、神戸市外国語大学2名)

<講師>

岩田健治(九州大学EUセンター長、九州大学教授)

フェニック・マーク(九州大学教授)

八谷まち子(九州大学EUセンターアドバイザー)

中村民雄(早稲田大学教授)

森井裕一(東京大学教授)

高崎春華(東洋英和女学院大学講師)

菊地崇史(外務省気候変動課) ※ジャン・モネ・セミナー「外務省外交講座」担当講師

The EU Studies Summer Course

<Dates>

6 (Mon.) – 8 (Wed.) September 2021 (3 days)

<Venue>

Online (Zoom)

<Participants>

14 students (Kyushu University (6), Waseda University (2), Toyo Eiwa University (4), Kobe City University of Foreign Studies (2))

<Lecturers>

Kenji Iwata (Director of Kyushu University EU Centre, Professor, Kyushu University)

Mark Fenwick (Professor, Kyushu University)

Machiko Hachiya (Advisor to the Kyushu University EU Centre)

Tamio Nakamura (Professor, Waseda University)

Yuichi Morii (Professor, University of Tokyo)

Haruka Takasaki (Lecturer, Toyo Eiwa University)

Takafumi Kikuchi (Climate Change Division, Ministry of Foreign Affairs)

*Special lecturer for Jean Monnet Seminar “MoFA Diplomacy Lecture”

(*1) EU/J Kyushu...EU-funded project in Kyushu University EU Centre (April 2011 - March 2016) <http://eu.kyushu-u.ac.jp/euij-kyushu-archives/index.html>

(*2) About the new course "Interdisciplinary Seminar in EU Studies"...One of the challenges to develop the EU Education & Research Ecosystem. Kyushu University's EU-related interdisciplinary diploma course "EU-DPs" has been providing a solid academic foundation for all EU studies at the university. A dynamic ecosystem for nurturing EU researchers has been developed covering all stages from undergraduate courses to graduate courses. As an advanced development, following "Fundamentals of the European Union - Institutions and Economics", a seminar-style course "Interdisciplinary Seminar in EU Studies" focused on EU Studies has been newly opened from the 2021 academic year.

ジャン・モネ・セミナーシリーズ 『インド太平洋と対EU外交』 Jean Monnet Seminar Series "Indo-Pacific and EU Diplomacy"

2021年10月14日(木)、新型コロナウイルス感染症対策として安全面に配慮したオンラインのウェビナー形式で、九州大学EUセンター(ジャン・モネCoE九州)主催、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)文化変動クラスター「アジア-日本モジュール」共催により、ジャン・モネ・セミナー『インド太平洋と対EU外交』が行われました。今回のセミナーでは、日EU外交の現場で活躍されている外務省欧州局政策課長・吉武将吾氏を講師にお迎えしました。

本セミナーは、「九州大学経済学部開講科目『国際金融』(担当教員:岩田健治教授)および「九州大学経済学府経済分析系リサーチ・ワークショップ」の講義としても開講されました。九州大学学生・研究者のみならず一般参加者にも公開し、学生・一般合わせて170名を超える参加者が熱心に耳を傾けました。

講義では、新型コロナ対応、グリーン・デジタルが牽引する新しい経済成長、インド太平洋における協力など、多くの分野で日本とEUとの連携強化が求められる中、本年5月に開催された日EU定期首脳協議や、9月にEUが発表した「インド太平洋戦略に関する共同コミュニケーション」など、中国の動向を踏まえた日EU外交の最前線の動きについて講演をいただきました。

また、外交交渉の最前線の現場でのお話を多く交えて解説頂きました。質疑の時間には参加者から、EUと中国の関係や外交戦略、欧州対外活動庁(EEAS)の「新型コロナウイルス関連の偽情報に関する特別報告書」などに関して活発に質問が上がり、吉武氏は参加者に向けてひとつずつ丁寧に答えてくださいました。予定時間を少々オーバーする活況ぶりでした。

講義の後は、外交官等を志望する学生向けオンライン座談会として、ご自身の経歴や、外交官を目指した動機、外務省で働くやりがいや意義、実際の様子など、日頃はなかなか接することのできない貴重なお話を聞かせて頂きました。外交官のみならず、将来グローバルに活躍したいという希望を持つ学生にとって、大変有意義な対話の機会となりました。

Kyushu University EU Centre (Jean Monnet Centre of Excellence-Kyushu, JMCoE-Q) organized the Jean Monnet Seminar Series "Indo-Pacific and EU Diplomacy" online on Thursday, 14 October 2021, co-organized by the Cultural Variation Cluster of Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS). It was held as a Zoom online webinar in

consideration of safety as a countermeasure against the coronavirus pandemic. We invited Mr Shogo Yoshitake of the European Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs, who is active in the field of EU diplomacy in Japan.

This seminar was also held as

a lecture of the Kyushu University School of Economics course "International Monetary Economics" (led by Prof. Kenji Iwata) and as a research workshop at the Graduate School of Economics, Kyushu University. It was open to the general public as well as students and researchers at Kyushu University, and more than 170 participants gathered and listened ardently.

Strengthening cooperation between Japan and the EU is necessary in many fields, such as responding to the COVID-19 pandemic, recent economic growth driven by green digital technologies, and cooperation in the Indo-Pacific. In the lecture, Mr Yoshitake spoke about the movement on the EU-Japan diplomatic front regarding trends in China and other issues, such as the "Japan-EU Summit" held in May this year and the "Joint Communication on the EU Strategy for Cooperation in the Indo-Pacific."

In addition, he explained these along with many interesting stories from the front lines of diplomatic negotiations. During the Q & A session, participants actively asked questions about the relationship and the diplomatic strategies between the EU and China, and the "EEAS (European External Action Service) Special Report: Short assessment of narratives and disinformation around the COVID-19 pandemic." He answered all the questions carefully one by one. So many questions and comments were raised that the lecture finished later than planned.

After the lecture, as an online table-talk for students interested in becoming diplomats, he shared valuable stories concerning his experiences as a diplomat, his motivation for becoming a diplomat, and the attractiveness of working at the Ministry of Foreign Affairs. It was a very meaningful opportunity for students who hope to play an active role globally in the future.

ウェビナーの様子(講師の吉武将吾氏) / The webinar (Lecturer, Mr Shogo Yoshitake)



EU研究ディプロマプログラム (EU-DPs)とは？

EU研究ディプロマプログラム (EU-DPs)は、九州大学に在籍中の学生が、卒業・修了要件の必要単位を満たしながら、EU (欧州連合) についての体系的な学習、研究を行う機会を提供するEU研究修了証書プログラムです。

EU-DPsの目的は、EU-DPsとして開放されている科目を計画的に修得することによって、EUの制度、機能、歴史などの基本的知識を習得すること、特定の分野・課題の研究を通じて、EUについての学問的な理解を深めることです。

学部レベルと大学院(修士課程)レベルを対象にした2つのプログラムで構成され、それぞれの修了要件を満たした学生には、「EU研究ディプロマプログラム修了証書(学部もしくは修士課程)」が授与されます。

*詳しくはホームページをご確認ください。

<http://eu.kyushu-u.ac.jp/indexjp.html>

EU Studies Diploma Programmes (EU-DPs)

The European Union Studies Diploma Programmes (EU-DPs) provide students of Kyushu University with opportunities to study about the EU and EU member states.

EU-DPs students will gain a fundamental knowledge of the EU, such as the history and role of the EU constitution. They will deepen their academic understanding of the EU through further coursework and the opportunity to write a research paper.

EU-DPs consist of undergraduate level and graduate level. Upon completion of requirements, students will be awarded a Diploma in EU Studies.

*Please visit our website for details.

<http://eu.kyushu-u.ac.jp/index.html>



EU研究ディプロマプログラム EU Studies Diploma Programmes

2021年度前期 修了者数 /

2021 Spring Semester, Number of students completed the programme

2021年度前期には91名(学部生67名、修士課程24名)の学生が登録していました。また、1名の学部学生(法学部1名)、10名の修士課程の学生(法学府10名)が修了証を授与されました。

91 students (67 undergraduates, 24 graduates) enrolled in the Spring Semester of 2021. Also, 1 undergraduate student (from School of Law) and 10 graduate students (all from Graduate School of Law) were awarded the Diploma in EU Studies.

2021年度前期 リサーチペーパー優秀賞 /

2021 Spring Semester, Research Paper Award

2021年度前期のリサーチペーパー優秀賞(EU研究部門)には、イコン ミラーさん、ミノザ マゴルダ ジジさん(ともに九州大学大学院法学府)2名の研究論文が選ばれました。おめでとうございます！

The EU-DPs has recognized two EU Research Paper Awards from the 2021 Spring Semester research papers. Congratulations to Kyushu University graduate student, Mr Mhealler Tulayba Ycong, and Ms Ma. Golda Gigi Godornes Miñoza.

EU研究部門 / EU Research Section (2名)

★ 最優秀賞 / Award of Excellence

★ イコン ミラー Mhealler Tulayba Ycong

(九州大学大学院法学府 / Graduate School of Law)

"Emission Impossible? An Analysis on the Legal Issues and Roadblocks of the EU's Proposed Carbon Border Adjustment Mechanism"

ミノザ マゴルダ ジジ Ma. Golda Gigi Godornes Miñoza

(九州大学大学院法学府 / Graduate School of Law)

"Reconciling National Interest and Foreign Investment: An Analysis of Protectionist Policies within the Context of Foreign Investment Law"

EU-DPs修了者の声 /

Voices from the EU-DPs Students who completed the programme

私は入学以前から、ドイツへの留学を志していました。そのため、こまめにSALCに足を運んで外国語能力を高めたり、留学相談を行っ

たりしていました。その際に、EU-DPsの存在を教えてくださいました。(7ページへ続く)





疋田 弥紅 さん (2020年度後期 学部コース修了) ※卒業前にプログラム修了
プログラム修了時の所属:九州大学文学部3年

(6ページ目からの続き) イギリスの脱退の問題やドイツへの難民流入の問題、当時多発していたテロなど様々なEU情勢に対する興味関心があったことや、留学生として現地で生活することを考えると、EU情勢について知っておくと役に立つだろうという思いでこのプログラムに参加しました。

結果的に、新型コロナウイルスの感染拡大のため、ドイツへの留学は保留になりましたが、このプログラムのおかげで、ドイツ以外の国への興味関心を持ち、実際に知識を深めることもできました。

私の専攻がドイツ文学であったことや、専攻科目がこのプログラムの科目に認定されていることが多かったため、履修上さほど苦勞することはありませんでした。プログラムの科目の都合で、ドイツ文学の授業のみならず、歴史、宗教、経済など様々な分野を幅広く学習できることは、好奇心旺盛な私の性格にぴったりでした。プログラムの科目の中で、経済学部の外国書講読でドイツ語でEUにまつわる単語を学んだり、文書を読む機会がありました。普段の文学部での学習とはまた色合いが異なり、新鮮味を感じつつ、楽しみながら学習することができました。

EU-DPs自体は修了しましたが、これまでの学びを忘れずに日々学業に励みたいと考えています。

Ms Miku Hikita

*Completed EU Studies Undergraduate Diploma Programme before graduation (in Fall 2020)

Affiliation at the time of completion of the programme: School of Letters, Kyushu University

I had aspired to study abroad in Germany even before entering Kyushu University. Therefore, I often visited SALC to improve my foreign language ability and consult with them about studying abroad. At that time, I was told about the existence of EU-DPs. Considering the issue of Brexit, the issue of refugee influx into Germany, and the interest in various EU situations such as terrorism that occurred frequently in those days, I participated in this programme because I thought it would be useful to know about the situation in the EU considering that I would be living there as an international student. As it turned out, however, studying abroad in Germany was put on hold due to the spread of the coronavirus pandemic. But thanks to this program, I was able to have an interest in countries other than Germany and deepen my knowledge.

Since my major was German Literature and many of my major courses were accredited as subjects for this programme, I didn't have much trouble taking it. Being able to study not only German literature, but also various disciplines such as history, religion, and economics was perfect for my curious personality. In the courses of the programme, I had the opportunity to learn about EU-related vocabulary and read documents in German in the course of Reading of Foreign Books offered in the School of Economics. The atmosphere was different from the usual study at the School of Letters, and I was able to enjoy studying with this fresh feeling.

Although I have completed the EU-DPs, I would like to continue studying hard every day without forgetting what I have learned so far.

田中 迅 さん
(2020年度後期 学部コース修了) ※卒業前にプログラム修了
プログラム修了時の所属:21世紀プログラム4年

私は、EUが環境問題に力を入れており、再生可能エネルギーを促進していることを知ったことでEUについて興味を持ちました。そして、EUについて学際的に学び、このプログラムを修了したいと思い、大学一年生の頃からプログラムを意識して講義を受けました。EU-DPsでは、工学部や農学部、法学部や文学部など複数の学部で講義が開講されており、特に環境の側面から法律や工学、農学についてEUを多面的に知ることができたのはとても良い経験となりました。

また、EU-DPsの授業で学んだことを生かし、国連の環境会議で日本人初のユーススピーカーとして発表したり、国連が支援する「持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)」に世界最年少で加入するなど、多種多様な国際交流プログラムに積極的に参加し、経験を積むことができました。

EU-DPs指定科目が開講されていない学部にも所属している場合は、通常よりも多くの講義を受ける必要があるかもしれませんが、苦勞が多くてもその分だけ満足できるプログラムになっています。私自身はこのようなプログラムがあったからこそ、講義を履修するモチベーションにつながり、4年間で320単位以上の単位を取得することができました。

このようにEU-DPsは、EUについてだけではなく、国の枠を超えた繋がりや国際的な枠組みについて考える機会や、積極的に学べる機会を提供してくれます。是非とも大学生活に目標を持って学業に取り組み、充実した日々を送っててください。

Mr Jin Tanaka

*Completed EU Studies Undergraduate Diploma Programme before graduation (in Fall 2020)

Affiliation at the time of completion of the programme: 21st Century Programme, Kyushu University

I became interested in the EU when I learned that the EU is focusing on environmental issues and promoting renewable energy. As I wanted to learn about the EU interdisciplinarily and complete this programme, I took lectures related to the programme starting in the first year of university. In the EU-DPs, lectures are offered in multiple departments such as the School of Engineering, Agriculture, Law, and Letters. It is a very good experience to be able to learn about the EU from various perspectives, especially about the environmental aspect.

In addition, I made a presentation at the United Nations Environment Conference as the first Japanese youth speaker, and I joined the "The Sustainable Development Solutions Network (SDSN)" held by the United Nations (UN) as the youngest member in the world. As such, I was able to gain valuable experiences by actively participating in a wide variety of international exchange programmes and applying what I have learned in the EU-DPs classes.

If you belong to a faculty which doesn't provide EU-DPs designated courses, you may need to take more lectures than usual, but the EU-DPs programme is satisfying enough even if you have a lot of difficulties. This programme actually motivated me to take lectures and I was able to earn more than 320 credits in four years.

In this way, EU-DPs provide an opportunity to think not only about the EU but also about connections beyond national boundaries and international frameworks and to actively learn about them. By all means, I do hope you work on your studies and set goals for your university life, and I hope you will have a fulfilling future.





九州大学オープンキャンパス / Kyushu University Open Campus

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2021年度九州大学オープンキャンパスについては、オンライン配信型で行われました。

『オープンキャンパス特設サイト』を設け、8月からサイト上でさまざまなオンライン企画が開催され

ました。

ウェブサイト訪問者はどなたでも閲覧可能となっており、九州大学EUセンターでは、ご覧のチラシを提供しました。EUについて体系的に学べるEU-DPsプログラムや、EUに関する

理解を深めるためのイベント等を紹介し、九州大学で「EU」を学べることをアピールしました。

★九州大学オープンキャンパス特設サイト
<http://admission.kyushu-u.ac.jp/oc/>

Due to the effects of the coronavirus pandemic, the 2021 Kyushu University Open Campus was conducted online. The "Open Campus special website" was set up, and various online programmes were held on the website from August. Anyone who visits the website can view the information, Kyushu University EU Centre provided the flyer as shown. We introduced the EU-DPs programme, in which students can systematically learn about the EU, as well as events to deepen students' understanding about the EU and related matters.

★Kyushu University Open Campus special website (Japanese only); <http://admission.kyushu-u.ac.jp/oc/>

これからのイベント

EUのクリスマス (福岡EU協会共催)

2021年12月18日 (土) 14:00-15:30@アクロス福岡 7階 大会議室

福岡で楽しむEU (福岡EU協会主催)

2022年2月 (予定) @福岡市内ホテル (予定)

＜九大生向け・学部/大学院＞ショートビジット支援金 受給者募集(予告)

○募集時期: 2022年4月頃 ○対象期間: 2022年夏休み
EU加盟国での短期留学(語学研修、サマースクールなど)の渡航費、授業料(オンラインプログラムを含む)、海外保険の一部を援助します。詳細は2022年4月頃ホームページにて確認ください。

＜九大生向け・大学院＞EUに関する報告発表支援金 受給者募集(予告)

○募集時期: 2022年4月頃 ○対象期間: 2022年(詳細未定)
EUに関する国際学会等での報告・発表を目的とした移動費、参加料(オンラインプログラムを含む)、海外保険の一部を援助します。詳細は2022年4月頃ホームページにて確認ください。

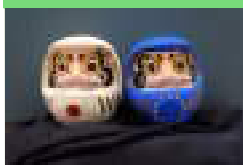
Future Events

Christmas in the EU (Co-organized by Fukuoka EU Association)
Sat. 18 December 2021, 14:00-15:30 at 7F Large Conference Room, ACROS Fukuoka

Enjoy the EU in Fukuoka (Organized by Fukuoka EU Association) February 2022 (TBD) at a hotel in Fukuoka (TBD)

<KU Students / For Undergrads & Grads> CALL FOR APPLICANTS for Short Visit Scholarship (Advance Notice)
-Application Period: Around April 2022 -Scholarship Period: Summer 2022
The purpose of this scholarship is to support students during language study or other short-term study programmes within the EU (including online programmes). Please check details on our website.

<KU Students / For Grads> CALL FOR APPLICANTS for Graduate Student Support Fund for Conference on the EU (Advance Notice)
-Application Period: Around April 2022 -Scholarship Period: 2022 (TBD)
The purpose of this scholarship is to support students participating in an EU-related conference (including online programmes). Please check details on our website.



九州大学EUセンター
Kyushu University EU Centre

〒819-0395 福岡市西区元岡744
744 Motoooka, Nishi-ku, Fukuoka,
819-0395, Japan

TEL: +81-(0)92-802-2190

FAX: +81-(0)92-802-2187

Email: eucentre@jimu.kyushu-u.ac.jp

Website: <http://eu.kyushu-u.ac.jp/index.html>



発行: 九州大学EUセンター 発行日: 2021年10月28日

Published by Kyushu University EU Centre, The date of issue: 28 October 2021

